

新公立病院改革プラン 平成30年度実績報告（浜松市リハビリテーション病院）

1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

（医療機能等指標に係る数値目標に対する実績）

医療機能等の指標	平成30年度 目標（A）	平成30年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
手術件数	370人	375人	5	101.4%
紹介率	30.0%	32.4%	2.4%	—
リハビリ件数	520,000件	518,450件	△1,550件	99.7%
その他				
患者満足度	96.0%	96.2%	0.2%	—

- 安全で質の高い医療の提供と職員の確保に努め、地域ニーズに応えられる入院体制を整備し入院患者数が増加したことで、手術件数も増加し目標値を上回ることができた。
- リハビリ件数は目標値に届かなかったものの、前年度比較で12,677件の増加であった。患者一人あたりのリハビリ提供単位数増加を目標とし実践することで、効果的かつ効率的なリハビリテーション医療が提供できた。

2 経営の効率化について

（経営指標に係る数値目標の実績に対する実績）

収支改善に係る指標	平成30年度 目標（A）	平成30年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
経常収支比率	99.4%	99.7%	0.3%	—
医業収支比率	88.9%	91.3%	2.4%	—
経費削減に係る指標				
給与費対医業収益比率	77.0%	77.9%	0.9%	—
材料費対医業収益比率	8.8%	8.0%	△0.8%	—
収入確保に係る指標				
入院患者延べ数	76,650人	77,953人	1,303人	101.7%
入院診療単価	34,329円	36,693円	2,364円	106.9%
外来患者延べ数	43,920人	46,173人	2,253人	105.1%
外来診療単価	7,479円	7,351円	△128円	98.3%
病床利用率	93.3%	94.9%	1.6%	—
経営の安定性に係る指標				
医師数	16人	17人	1人	106.3%
企業債残高（百万円）	5,367百万円	5,367百万円	0百万円	100.0%

- 経常収支比率、医業収益比率においては、8月より回復期リハビリテーション入院料1を、2月より病棟体制強化加算を算定し、またリハビリ単位数の増加による収益増により、目標値を上回ることができた。
- 訪問リハビリテーション事業も軌道に乗り始め、月利用者数は20名、延訪問回数は100回を超えている。
- 地域ニーズの高い「えんげと声」「スポーツ医学」「高次脳機能」など、特色ある医療を提供することができた。

3 再編・ネットワーク化について

- 西部構想区域内では、特定機能病院及び地域医療支援病院における二次・三次救急医療体制等が整備され、病院が連携し、それぞれの機能を有効に発揮している。

4 経営形態の見直しについて

- 指定管理者（聖隷福祉事業団）により、専門的かつ高度なリハビリテーションを提供できおり、効率的な運営が行われていることから、引き続き指定管理者による運営を行っていく。